



平成 25 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月26日

上場会社名 アクモス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6888 URL http://www.acmos.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯島 秀幸
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室長 (氏名)中川 智章 (TEL)03-5217-3121
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 6 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 7 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	1,988	△16.8	14	50.2	9	△67.4	2	△87.3
24年6月期第3四半期	2,389	△8.1	9	△93.1	29	△79.9	19	△68.2

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 △1百万円(—%) 24年6月期第3四半期 18百万円(△71.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	26.07	—
24年6月期第3四半期	205.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	2,044	1,504	73.6
24年6月期	2,217	1,583	68.1

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 1,504百万円 24年6月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年6月期	—	0.00	—		
25年6月期(予想)				200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 6 月期の連結業績予想 (平成 24 年 7 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	2.2	30	197.8	50	57.8	35	118.0	360.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期3Q	102,154 株	24年6月期	102,154 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年6月期3Q	5,159 株	24年6月期	5,159 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	96,995 株	24年6月期3Q	96,995 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日、以下「当四半期」という)におけるわが国経済は、昨年末からの円高是正傾向と株価の回復により、景気回復の期待が高まりました。震災復興などの公共投資が増加し、景気は底堅いものの、欧州各国の債務問題や中国などの新興国経済の景気減速により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業である情報技術事業においては、東日本大震災により止まっていたIT投資の再開がみられ、またスマートフォンやタブレット関連の市場が拡大している一方で、従来のシステム開発や運用保守の分野においては、製造業の基幹システム更新や通信事業者のシステム投資などの開発案件が増えているものの、全体的には引き続き企業のIT投資に対する慎重な姿勢が続いており、運用サービス単価の低下傾向もあり、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度の基本方針に基づき、「事業再構築」と「新規事業創出」の2つを中心テーマとし、事業環境の変化への適応と収益性の向上を目標に掲げ事業を進めてまいりました。前四半期における茨城県から受託した平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業に係る売上高230百万円の影響がなくなったことにより、当四半期の売上高は1,988百万円(前第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日、以下「前四半期」という)は売上高2,389百万円、前四半期比16.8%減)と前四半期に比べ減少いたしました。営業利益は、売上高が減少したものの研究開発費や人件費の減少などにより14百万円(前四半期は営業利益9百万円、前四半期比50.2%増)となっております。経常利益は前四半期に計上のあった助成金収入15百万円の減少により9百万円(前四半期は経常利益29百万円、前四半期比67.4%減)、四半期純利益は2百万円(前四半期は四半期純利益19百万円、前四半期比87.3%減)となっております。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度末において、報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を変更しております。前四半期はのれん償却額を各セグメントに配分せずに、調整額としておりましたが、当四半期では各セグメントに配分しております。以下の各セグメント別の前四半期対比につきましては、前四半期の数値を組み替えて算定しております。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業(当社及びACMOSソーシングサービス(株))では、前四半期にアクモス(株)で入札により受注しておりました、茨城県の平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業に係る230百万円の売上の減少分の影響と、発注金額の抑制傾向が継続していることにより、売上高は前四半期比12.1%の減少となりました。営業利益は、節電対策シフトの影響が前四半期に比べ少なかったことや、プロジェクト単位の業務管理を強化した効果、社内人員を活用し外注を抑制したこと、また研究開発費が減少したことにより、対前四半期比で37百万円営業損益が改善いたしました。営業活動においては、アクモス(株)のシステムインテグレーション関連製品の共通ブランドとして『SYMPROBUS(シンプロバス)』を採用し、平成24年12月25日より使用を開始いたしました。当社が前連結会計年度においてI型消防通信指令システムとして開発を行ったCTI等を活用した通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)については、受注活動を引き続き推進いたしました。なお、当四半期においては、通信指令システムの受注案件について、工事進行基準による売上を25百万円計上しております。当四半期のITソリューション事業の売上高は1,822百万円(前四半期は売上高2,072百万円、前四半期比12.1%減)、営業利益21百万円(前四半期

は営業損失16百万円)となっております。

(ITサービス事業)

ITサービス事業(株エクスカル及び株ジイズスタッフ)の株ジイズスタッフでは、新規取引先の開拓は順調に進んでおりますが、新規取引は売上規模が少額な傾向にあります。また、既存顧客からの価格引き下げの要望も強く、売上高は前四半期比9.7%の減少で推移いたしました。少人数体制のため、受注拡大への対応が難しかったことから、課題であった従業員の採用を行い、社内体制の強化を図っております。(株エクスカルについては第2四半期連結会計期間の期首より連結対象から除外し、持分法適用関連会社としております。当四半期のITサービス事業の売上高は、主に(株エクスカルが連結対象から除外された影響により231百万円と前四半期の売上高372百万円から141百万円(前四半期比38.0%減)減少しております。また営業利益では、主に(株ジイズスタッフの売上高減少の影響により、営業利益20百万円(前四半期は営業利益52百万円、前四半期比60.0%減)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結子会社であった(株エクスカルを第2四半期連結会計期間の期首より持分法適用関連会社としております。これにより、(株エクスカルの第1四半期連結会計期間末における資産183百万円、負債47百万円及び少数株主持分68百万円が減少し、資産の部に関係会社株式62百万円が増加しております。なお、以下の区分毎の変動要因の金額には、(株エクスカルの連結除外による影響額が含まれております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、2,044百万円となりました。変動の主な要因は受取手形及び売掛金が146百万円、関係会社株式が62百万円増加した一方、現金及び預金が276百万円、のれんが41百万円、未収入金が23百万円、敷金及び保証金が14百万円、短期貸付金が12百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、540百万円となりました。変動の主な要因は、賞与引当金が37百万円増加した一方、未払費用56百万円、前受金24百万円、長期借入金35百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、79百万円減少し、1,504百万円となりました。変動の主な要因は、少数株主持分の減少73百万円、配当金の支払9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月3日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税等の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(工事進行基準の適用)

第2四半期連結累計期間より、受注制作のソフトウェア開発プロジェクトのうち、第2四半期連結累計期末迄の進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトが新たに発生したことから、当該プロジェクトについて工事進行基準を適用しております。

なお、これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が7,514千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,232,719	956,364
受取手形及び売掛金	376,323	523,096
仕掛品	28,414	22,004
原材料及び貯蔵品	355	638
前払費用	16,736	14,209
短期貸付金	15,469	2,895
未収入金	24,823	1,788
繰延税金資産	7,744	9,599
その他	1,337	1,520
貸倒引当金	△2,260	△2,965
流動資産合計	1,701,664	1,529,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	225,380	225,980
減価償却累計額	△116,938	△121,730
建物及び構築物 (純額)	108,442	104,249
工具、器具及び備品	59,137	63,393
減価償却累計額	△47,543	△51,472
工具、器具及び備品 (純額)	11,593	11,921
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	188,872	185,007
無形固定資産		
のれん	212,576	170,752
ソフトウェア	43,627	39,719
電話加入権	1,481	1,335
無形固定資産合計	257,685	211,807
投資その他の資産		
投資有価証券	18,759	22,588
関係会社株式	—	62,616
敷金及び保証金	40,338	26,172
長期貸付金	9,808	7,628
その他	60	30
貸倒引当金	△9	△7
投資その他の資産合計	68,957	119,028
固定資産合計	515,515	515,843
資産合計	2,217,180	2,044,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,398	56,500
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	46,250
預り金	25,019	19,677
未払金	72,325	69,532
未払費用	159,002	102,590
未払法人税等	17,820	9,437
賞与引当金	10,901	48,029
前受金	36,685	12,024
その他	1	—
流動負債合計	496,154	444,042
固定負債		
長期借入金	118,750	83,750
長期前受金	13,203	9,649
その他	5,198	2,688
固定負債合計	137,152	96,087
負債合計	633,307	540,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△308,438	△315,609
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,507,182	1,500,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,063	4,854
その他の包括利益累計額合計	3,063	4,854
少数株主持分	73,626	—
純資産合計	1,583,872	1,504,865
負債純資産合計	2,217,180	2,044,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間
四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,389,313	1,988,131
売上原価	1,632,610	1,348,552
売上総利益	756,702	639,578
販売費及び一般管理費	746,741	624,614
営業利益	9,960	14,964
営業外収益		
受取利息及び配当金	949	691
保険配当金	2,893	3,089
助成金収入	15,609	457
その他	3,847	1,435
営業外収益合計	23,300	5,674
営業外費用		
支払利息	3,656	3,116
持分法による投資損失	—	5,461
事業準備費用	—	2,413
その他	—	4
営業外費用合計	3,656	10,995
経常利益	29,604	9,642
特別損失		
固定資産除却損	152	78
契約解除損失	300	—
特別退職金	—	480
特別損失合計	452	559
税金等調整前四半期純利益	29,152	9,083
法人税、住民税及び事業税	12,946	12,266
法人税等調整額	△1,536	△162
法人税等合計	11,410	12,103
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17,741	△3,020
少数株主損失(△)	△2,187	△5,548
四半期純利益	19,929	2,528

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17,741	△3,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,217	1,790
その他の包括利益合計	1,217	1,790
四半期包括利益	18,959	△1,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,146	4,318
少数株主に係る四半期包括利益	△2,187	△5,548

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,016,451	372,862	2,389,313	—	2,389,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,195	—	56,195	△56,195	—
計	2,072,646	372,862	2,445,508	△56,195	2,389,313
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△16,049	52,441	36,391	△26,430	9,960

(注) セグメント利益の調整額△26,430千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△26,334千円、その他の調整額△96千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,756,990	231,140	1,988,131	—	1,988,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,883	—	65,883	△65,883	—
計	1,822,873	231,140	2,054,014	△65,883	1,988,131
セグメント利益	21,327	20,978	42,305	△27,341	14,964

(注) セグメント利益の調整額△27,341千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△27,312千円、その他の調整額△28千円を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において報告セグメントごとの利益又は損失の金額の算定方法を、のれん償却費を調整額に含める方法から、各報告セグメントに配分する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(連結子会社における会社分割(吸収分割)に係る契約締結)

当社及び以下の3社は、平成25年4月23日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるASロカス株式会社(以下、「ASロカス」という。)が、株式会社昭文社の連結子会社である株式会社昭文社デジタルソリューション(以下、「SDS社」という。)の事業の一部を会社分割(吸収分割)の方法により承継する吸収分割契約を承認し、吸収分割契約書の締結を行いました。

1. 会社分割(吸収分割)の目的

ASロカスは、事業会社の業務上の利用目的に合わせた地図情報の収集と地図コンテンツを活用したITソリューション事業の開始に向けて準備を進めております。SDS社は、マッピング事業、GIS等の地理地図情報システム関連事業、データセンター運営事業において高い技術力と顧客基盤を有しております。当社のSI事業においても、SDS社のGISシステムを活用したアプリケーション開発を進めており、また、当社の運用系サービスとも補完性が高く、相互にシナジー効果が期待でき、当社グループ事業に寄与することを目的とするものであります。

2. 会社分割(吸収分割)の日程

吸収分割契約承認取締役会(4社)	平成25年4月23日
吸収分割契約書の締結	平成25年4月23日
吸収分割契約承認臨時株主総会(ASロカス)	平成25年5月9日
吸収分割の効力発生日	平成25年6月1日(予定)
金銭交付日	平成25年6月24日(予定)

3. 交付する対価の種類・総額等

ASロカスは会社分割(吸収分割)により承継する本件資産等の対価として、SDS社に対し、SDS社からASロカスに移管する資産から負債を控除した純資産の額にのれん代を加えた額(金銭)を交付いたします。なお、資産及び負債の算定にあたっては、2013年5月31日現在の財務諸表の数値を基準といたします。

4. 分割当事会社の概要

(1) 商号	ASロカス株式会社 (承継会社)	株式会社昭文社デジタルソリューション (分割会社)
(2) 事業内容	業務系アプリケーションの開発及び地図情報の提供サービス	デジタル地図データ制作、地理情報システムの開発から販売、地図情報に関するWeb配信システムの運用
(3) 設立年月日	昭和55年1月30日	昭和58年10月21日
(4) 本店所在地	東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル	千葉県市原市五井3926番地1
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 飯島 秀幸	代表取締役社長 青山 慎平
(6) 資本金	1,000万円	4億5,885万円
(7) 発行済株式数	14,000株	13,110株
(8) 大株主及び持ち株比率	アクモス株式会社:100%出資	株式会社昭文社:100%出資
(9) 決算期	6月30日	3月31日
(10) 当事者間の関係等	資本関係	該当ありません
	人的関係	該当ありません
	取引関係	該当ありません
	関連当事者への該当状況	該当ありません

5. 承継する事業の内容

(1) 承継する部門の事業内容

- ①デジタル地図データの制作受託などのマッピング事業
- ②地理情報入力編集システム（NIGMAS）の販売事業
- ③地図戦略情報システム（GEOSIS・GGS）の開発・保守・販売事業
- ④データセンター運用や地図情報に関するWEB配信システム運用などのWEB事業

(2) 承継する事業の経営成績（平成24年3月期）

	承継対象となる事業(a)	S D S 社(分割会社)の 全事業(b)	比率(a/b)
売 上 高	675,335千円	1,023,663千円	65.9%

6. 業績への影響

本件が平成25年6月期の連結業績に与える影響については精査中であり、今後の連結業績に与える影響が判明した場合には、速やかに開示いたします。